

事業所名	社会福祉法人 安積保育園パローネ				公表日	2026年2月27日		
	利用児童数	27名		回収数	20名			
	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20				・シーズン毎に親子で参加できるものがあると評価できるのではないのでしょうか？	・ご意見いただきありがとうございます。次年度の活動内容として親子で参加できる活動の実施を検討させていただければと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			1		
	3	2026/2/20	18			1	・構造化されていて分かりやすく、安心できると思います	・ご意見いただきありがとうございます。今後も構造化等を行い、お子さんたちが活動しやすい環境設定をまいります。
	4	事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17		1	2	・とても丁寧に環境設定がされていると感じています。	・ご意見いただきありがとうございます。今後も利用者様保護者様が安心してご利用いただけるようより良い支援を目指していければと思います。
	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			2	全ての先生方が保護者や子どもに対して常に安定した関わりをしてくださり有難いです。	
適切 な 支 援 の 提 供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			・適切で専門性の高い支援をして頂いて感謝しています。	・ご意見いただきありがとうございます。お子さまたちの特性を活かしながら、できる、できたという成功体験をつんでいただけるよう支援させていただきます。
	7	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1				
	8	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	9	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			2	・シーズン毎に親子で参加できるものがあると評価できるのではないのでしょうか？	・ご意見いただきありがとうございます。次年度の活動内容として親子で参加できる活動の実施を検討させていただければと思います。
	10	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			3		
	11	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18			2		
	12	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む	12	3	2	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	13	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				・最初に聞きましたが、その後変更などの話はありません。	・ご意見いただきありがとうございます。支援プログラムなどの説明が不足しており大変申し訳ありません。適宜保護者さまへのご相談ご説明を行っていただければと思います。また、定期的に面談などを実施しご意見など相談しやすい環境を設定できればと思います。
	14	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	2				
	15	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17			3		
	16	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20				・相談しやすい温かい雰囲気でありたいです	・ご意見いただきありがとうございます。今後も相談いただきやすい雰囲気づくりや、ご相談いただくなかで保護者様のお悩みによりそえるよう今後もサービス継続をさせていただければと思います。
	17	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2				
	18	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			2		
	19	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 ※保護者食事会、ママランチ等も含む	13	2	2	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	20	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	3				
	21	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18		2			
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15		1	4		
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			2		

非常時等の対応	24	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19		1		・情報が足りず解答できない	・ご意見いただきありがとうございます。各マニュアル等については再度ご周知・説明の機会をもうけさせていただきます。情報が不足しているという現状の改善をはからせていただきます。
	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17		1	2		
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	18			2	・ハザードマップを用いながら丁寧に説明いただいたので安心して通わせております。	・ご意見いただきありがとうございます。今後も伝わりやすい説明や、周知方法を検討していきます。
	27	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	17			3		
満足度	28	こどもは安心感をもって通所していますか。	18		2		・行き渋りが時折ある	・ご意見いただきありがとうございます。行き渋りがあるということ、ご本人のニーズをくみ取りつつ、何故行き渋りがあるのかの理由を保護者様と相談し提供内容について提案させていただければと思います。
	29	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18		2		・毎週1回のパローネを本当に楽しみにして通っています。毎週金曜に通っているので小学校を頑張ったご褒美のように感じて楽しんでいる様子です。次にパローネに行く時は〇〇さんとこれで遊ぼうかな？〇〇さんと神経衰弱したいな、など自宅でも楽しそうに話している様子を見るとわたしも嬉しいです。いつも子どもに丁寧に接して下さり本当にありがとうございます。	・ご意見いただきありがとうございます。今後も楽しんで活動いただけるよう精進してまいります。
	30	事業所の支援に満足していますか。	17	3			・子どもの特性にあった支援や困りごとなどにも相談にのって頂いたり日々感謝しております。子ども通所を楽しみにしており色々なことを経験しお友達との関わりも増えてきたりとゆっくりではありますが成長を感じ嬉しく思います ・大変お世話になり、良い環境と温かい関わり方で、安心して過ごさせています。毎年書いていましたが、三年生で終了が残念です。パローネ六年生まで関わってお世話になれたらよかったです ・学校などへの行き渋りの強い時、突発的でも可能な預かり支援があれば、とても助かります。	・ご意見いただきありがとうございます。お子様の成長と一緒にサポートさせていただけるよう今後も精進してまいります。 ・ご意見いただきありがとうございます。3年生以降の延長については検討させていただいておりますが、今後フォローアップという形で不定期でもフォロー体制を整えられないか検討中です。 ・ご意見いただきありがとうございます。何故行き渋りがあるのかの理由を確認しつつ、放デイでできること、他サービスで対応できることなど情報集約しながらお子様が安心して活動できる場の提供を検討していければと思います。
その他								

事業所名	社会福祉法人安積愛育園 安積愛育園パローネ					公表日	2026年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				・建物古い掃除などで中は比較的綺麗にしている。	・送迎ニーズも増えている中、送迎スタッフの確保も検討が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		3		・構造化などを実施している。	・構造上バリアフリーにできない部分もあり、すべての障がいの方に利用いただける環境ではない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1				
	4	2026/2/20	3		2			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5					
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		2		・第三者評価は実施していないが、外部からの見学者や実習生にアンケートをいただいている。	・毎年事業所評価を実施しているが、ソフト面の解決は検討できるが、ハード面については改善に時間を要する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5					・職員の意見を聞く機会が少ないので、常勤のみではなく、非常勤職員についても面談を行うなど全体の意見を聞く機会を増やしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケートも含む	5					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				・スケジュール等で活動を2択にして本人が参加したいものや、おやつを選択性することで自分で食べたいものを選んでもらうなど意志表出の機会を設けている。	・リアルタイムに全職員でフィードバックは難しいが、毎日振り返りを実施している。支援の方向性は確認しながら進めているが集中して検討する時間の確保も必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				・昨年のご意見から、おたよりに避難訓練の実施のお知らせや、支援プログラムについてお知らせするようにして、保護者へ積極的に周知している。	・紙面だけでは周知につながらない部分もあり、定期的に保護者の方と面談を行う事で、保護者様のご意見を聞く機会を更にとっていただければと思う。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		1			・支援プログラムに関しては、平日以外の活動で普段実施できない活動を提供しているが、マンネリ化してきている部分もあるため、新たな取り組みを検討していければと思う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		1			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		3			
適 切	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5					

切 な 支 援 の 提 供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5					
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		1			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5					
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5					
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				<p>・移行時期の対象の方がいないので移行支援を実施する機会がないが、依頼があれば情報提供などを行っている。</p> <p>・保護者に了承を得て、契約前に児童発達支援事業所や幼稚園保育所等に連絡し事前に情報共有を行っている。</p>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5					
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5					
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		2			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		3			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5					
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域のこども達とのふれあい含む	3		2			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	5					
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5					
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5					
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				<p>・保護者会はないが、ママランチやワークショップを実施している。</p> <p>・保護者の意思は反映できているが、子供自身の意思を反映できているか分からない。</p> <p>・避難訓練など近隣にお知らせはしているが、それ以外の交流方法を見いだせていない。</p> <p>・地域交流も含め、外部の事業所に保護者同伴で見学会をひらくなど、将来にむけたイメージへの支援や、保護者とスタッフが交流する機会も軽減しているので直接話ができる機会を設けていきたい。</p>	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5					
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5					
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5					
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5					
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5					
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5					
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5					
保 護 者 へ の 説 明 等	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5					
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		2			

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			<p>・BCP・防災関連などは、概要をわかりやすく伝えるために、概要をまとめたものを保護者に配布している。</p> <p>・医師の指示書までもらうケースはなく、保護者にアレルギー内容を確認してアセスメントに記載している。</p> <p>・身体拘束を行うケースが現在はないので、個別支援計画に記載していないが、今後記載していく方向で検討していく。</p>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		2		

○事業所名	社会福祉法人安積愛育園 安積愛育園パローネ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応、2～3人のグループ活動などお子さんにあわせた対応を行っている。	契約時は保護者の方のお話だけでなく、通所している事業所や保育所、幼稚園、学校等多方面から情報をいただき初回対応について個別対応か、グループ対応かを検討している。定期的にスタッフ間で話し合いを行い、個別対応かグループ対応かについても随時修正を行っている。	事業所内だけだと偏った意見になる可能性もある為、第三者視点で支援の対応について確認してもらう機会を設ける。
2	障がい児支援の経験が長い職員が多く、ご家庭での過ごし方の相談や児童クラブ、学校についての相談をうけアドバイス等を行える。	経験年数の高いスタッフから保護者へのアドバイス方法・対応方法について助言する機会を設けている。また、担当者会議などで若手スタッフも同行し経験をつむことで、事業所内だけでなく外部とのやりとり、福祉サービス外の流れも知識として得られるようにしている。	外部研修に積極的に参加し、新しい知識を得る。福祉の視点だけでなく、こどもに関連する知識、教育や医療側の視点について理解する機会をもつ。
3	活動が固定化されないようにしている。	日々の支援プログラムにおいては、利用者さんによっては固定することで安心する方もいるので、ここに合ったプログラムを行っている。	平日の支援内容だけでなく、ぽろっこくらぶ等週末実施のプログラムについても、初めての活動を取り入れるなどマンネリ化しないよう検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ハザードマップ上水害エリアになっている。避難訓練のお知らせはしているが、実際おこなっている様子を見ていない。	災害エリア外への引っ越し先がみつからない。	災害エリア外で、現在の建物面積程度の物件を探すこと。
2	対象年齢が1年生～3年生と利用できる年齢が限られている。	営業時間が17時までと対象年齢を広げた場合に提供時間が短くなってしまう。	ハード面の検討と、営業時間の見直し、送迎範囲などニーズを考慮しながらどこまで対応できるのか検討が必要。
3	地域とのかかわりが少ない。	住宅地で隣住民の方だと交流が難しい。地域交流を全員が希望しているわけではない。	まずは近隣の福祉事業所同士で交流をはかり、地域資源について学ぶ機会をもつ。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		安積愛育園パローネ		公表日		2026年2月27日			
		利用児童数		5名		回収数		3名	
		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3						
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3						
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3						
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3						
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3				・いつも相談して下さった上で、適切なタイミングでの訪問をしてくださり、丁寧にその時の様子をフィードバックしていただきアドバイスをいただけて本当に有難いです。学校の先生方に聞く本人の様子とはまたちがう視点での様子を聞けるのが有難いです。子どもの様子だけではなく保護者であるわたしの様子も気にして下さり助けられています。	ご意見いただきありがとうございます。今後も保護者様、ご本人の不安が軽減できるようなサポート体制で対応させていただきます。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3						
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3						
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1					支援計画についての説明やガイドラインについてご説明する機会が不足しておりました。今後ガイドラインや支援計画についてのお知らせ等を配布させていただければと思います。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3						
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3						
12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3							
保護者への説明等	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				・いつも親身になって話を聞いていただき、自宅での対応の仕方など丁寧にアドバイスをいただけるのが有難いです。そのおかげで子どもも落ち着いて過ごせる時間がとても増えました。	ご意見いただきありがとうございます。今後も適切な情報提供ができるように、スキルアップに努めたいと思います。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3						
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3						
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3						
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3						

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3			・こちらに関してハザードマップを用いながら丁寧に説明いただいたので安心して通わせております。	ご意見いただきありがとうございます。今後も保護者様ご本人に伝わりやすい説明に努めてまいります。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
満足度	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3			・とても満足しています。いつもありがとうございます！	ご意見いただきありがとうございます。今後も皆様に満足いただけるように、サービス提供していければと思います。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				2026年2月27日	
安積愛育園バローネ		利用児童数				5名	回収数 3名
チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3				<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の過去や放課後等の様子が得られてよかった。</li> <li>・困り感に寄り添った助言をしてくれる。</li> <li>・支援対象児童の実態に合わせてピンポイントで声かけやしえんの仕方をアドバイスして頂けてありがたいと思います。</li> </ul>	ご意見いただきありがとうございます。今後も学校や保護者さんと情報共有をはかりながらご本人の支援について具体案を提案させていただくなど、サポートさせていただければと思います。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の情報がありがたかった。</li> <li>・絵カードの準備が助かっている。</li> </ul>	ご意見いただきありがとうございます。今後も連携等が円滑にいくよう情報共有・教材提供をおこなっていければと思います。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に答えていただいた。</li> <li>・訪問後、必ず情報共有をしてくれる。</li> <li>・児童についてだけでなく、家庭や保護者との関わりについてもサポートしてくださっているので感謝しております。</li> </ul>	ご意見いただきありがとうございます。今後も保護者、学校、福祉事業所がうまく連携していけるよう情報共有等をおこなっていければと思います。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されています。		1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報があつたことで軽減された。</li> <li>・手立てを確認しながら進めることができています。</li> </ul>	ご意見いただきありがとうございます。今後も課題や困りごとが少しでも軽減できるよう、ご協力いただきながら訪問させていただければと思います。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	3				<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変助かっている。</li> <li>・学校と家庭の間で様々な情報を集めて橋渡しをして頂いています。児童がよりよい学習環境で毎日学んだり生活したりできるよう、今後ともどうぞよろしくお願いたします。</li> </ul>	ご意見いただきありがとうございます。学校や児童クラブの方とよりよい関係を築けるよう邁進してまいります。	
其他のご意見			ご意見を踏まえた対応				
・必要に応じて情報交換できたらありがたいです。			ご意見いただきありがとうございます。適宜学校以外のご本人のご様子や取り組みについても共有して、お子さんが活動しやすい環境づくりのサポートをおこなっていければと思います。				

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		安積愛育園パローネ				公表日	2026年2月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	わからない	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。			2		・各児童にあったものを都度準備している 為、必要に応じての準備となるため事前に準備されているものはない。	都度利用者さまにあわせて教材を作成している。もっとよい教材もあるかと思うので様々な教材理解、支援方法について学ぶことが必要。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1		1			
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2				・訪問担当から放デイ職員にフィードバックしている。また、相談については放デイ職員とも相談検討してから訪問先に回答している。 ・必要に応じて共有している。 訪問支援計画を放デイスタッフにも共有している。	兼務で対応している為、フォロー体制として放デイスタッフも情報共有等を行っているが、増員は検討が必要。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2					
	5	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2					
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2				・放デイ利用児ケースで訪問しているので、放デイでの様子や最近の家庭の様子を共有しているが、訪問員のみで対応するケースが多いので、放デイスタッフも同行可能な際は同行している。	日々の様子は学校や児童クラブ、放デイ事業所に聞き取りを行っているが、フォーマルなアセスメントにおいては心理検査・発達検査の共有のみとなっている。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2					
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2					
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2						
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2						

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問がある時に限らず、電話・メールで連絡をして定期的に様子を伺うようにしている。</li> <li>・情報提供を行なっている。</li> </ul> 各家庭に応じた情報提供は行っているが、研修などは実施できていない。	連絡会には参加しているが、地域のこども・子育て会議等へは参加できていないので、今後地域とどう連携できるか検討が必要。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1		1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2				
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1		1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1		1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規定の内容が重要事項説明書、契約書に網羅されているので、運営規定までは説明していないが、内容は契約書に反映されている。</li> </ul>	訪問事業所としての保護者向けの勉強会や研修などの開催は行っていない。今後ニーズを確認しつつ検討が必要。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2				
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2				
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問の場合は万が一何かあったら、訪問先の指示に従って動いた方が良いと思っている。</li> </ul>	放デイ事業所のマニュアルは各家庭に伝達させていただいている。訪問事業所のみマニュアルはなく放デイと同様となっている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2				
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2				
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児がいらない為、個別支援計画には記載していない</li> </ul>	

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2				
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	安積愛育園パローネ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されています。		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関連事業所を利用されている方が多いので、幼少期からの様子・情報を得た状態で関係機関と関わられる。	訪問支援員と児発・放デイスタッフとの情報共有を適宜行っている。児発・放デイで活用している視覚支援やツールを共有している。	訪問支援員のみではなく、児発・放デイスタッフも同行することで、日々の様子の違いやご本人の特性を活かしたサポートができないか、複数の目をいれることでよいサポートができるかと思う。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が不足している	保育所等訪問のできる経験のあるスタッフ数が不足している。各事業所の職員数が充足していない。	各事業所の職員のスキルアップを目指すとともに、職員補充兼務者の検討も必要。訪問につなげないケースに関しては関係機関でつなぐなど、極力ニーズに応えるように対応する。
2			
3			